学校番号	408

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　化学基礎（数研出版）						
副教材等	新課程 Visual Select 化学基礎ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校で理科として学んだ知識を整理し、化学分野の知識を専門的に身につけることにより、日常に存在している物質に興味・関心を持って、物質の構造や現象を化学的な視点で捉えられるようになってください。当たり前に存在している物質を、原子や分子の構造について理解した上で見ると、ものの見え方が変化します。また、原子や分子が決まった法則で生成され、身の回りのさまざまな製品や工夫へと応用されて使われていることに関心を持って授業を受けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な基礎知識、及び実験における基本的な操作を身に付ける。観察・実験から得られたデータを視覚化することができる。また、視覚化されたデータを整理・分析できる。

【思考力、判断力、表現力等】

得た知識をもとに課題を設定し、その解決のために行動できる。実験・観察をもとに得られた結果を整理・分析し、科学的に考察できる。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然現象の原理や法則を理解するとともに、化学分野における基礎的な知識が定着している。また、実験における器具や装置の基本操作を習得し、実験の過程や結果から化学現象を考察する技能が身についている。	化学の原理や法則を学ぶ中で、習得した知識をもとに原子や分子という構造レベルで思考することができる。また実験や観察から得られた結果を考察し、データを整理・分析し、論理的に他者に説明できる。	日常生活や社会と関連付けて化学的な事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとしている。 授業、課題に意欲的に参加し、理論的に探究しようとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の構成と化学結合	第1編　第１章 1. 混合物と純物質 2. 物質とその成分 3. 物質の三態と熱運動	a:原子の種類や構造・性質の知識を身につけ、実際の物質や自然現象と結びつけて理解している。基本的な実験・観察を通じて、その過程や結果を適切に記録・整理できている。 b:物質の状態変化について科学的に考察し、導き出した考えを表現している。 c:化学物質の種類と構造、科学的な現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト レポート	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 観察
		第２章 1. 原子の構造 2. イオン 3. 元素の周期表		定期考査 小テスト レポート	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 観察
2学期	物質の構成と化学結合	第３章 1. イオン結合とイオンからなる物質 2. 分子と共有結合 3. 共有結合の結晶 4. 金属結合と金属	a:基本的な物質の原子や分子の構造を理解し、種別することができる。様々な物質の結晶の性質や化学結合の仕組みを理解し、結晶の種類を種別できる。 b:結晶の性質と化学結合との関連をまとめ、論理的に説明できる。 c:イオンの存在と、分子が構成される原理に関心を持って探究しようとしている。	定期考査 小テスト レポート	定期考査 実レポート 課題	レポート 課題 観察
	物質の変化	第２編　第１章 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質量		定期考査 小テスト レポート	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 観察
3学期	物質の変化	第２章 1. 酸・塩基 2．水の電離と水溶液のpH 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定	a:酸化還元反応を反応式から考察できる知識が身についている。実験等を通じて酸・塩基の性質を理解し、結果を考察できている。 b:身近な酸・塩基の物質に、学習内容を照らし合わせて、内容を深く考察し、論理的に説明できる。 c：日常生活の中でおこる化学的な現象に興味を持ち、意欲的に探究している。	定期考査 小テスト レポート	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 観察
		第３章 1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用		定期考査 小テスト レポート	定期考査 レポート 課題	レポート 課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度